

『八丁味噌を愛した著名人』

～ 松村松僊 ～

1877年（明治10年）～1940年（昭和15年）

山口県出身（又は東京都）。日本画家。本名 松村茂（又は民三）

号は松僊（松儼）・櫻雨。

代表作は「大嘗祭悠紀齋田播種ノ図」「悠紀齋田記念画帖」

当社史料室には、大正時代に松僊から頂いた年賀状3点が残っております。

又、当社史料館では、1919年（大正8年）作成の「日吉丸と蜂須賀小六の出会いの図」の掛け軸を常設展示しております。

1915年（大正4年）大正天皇即位に際し、岡崎市中島町（旧碧海郡六ツ美村）が大嘗祭に供納する新米を作る悠紀齋田に選ばれました。「大嘗祭悠紀齋田播種ノ図」は愛知県知事の命を受け制作され、大正天皇の天覧に供されました。大嘗祭悠紀齋田が行われてから来年2015年（平成27年）で100周年を迎えます。

2013年（平成25年）に六ツ美歴史民俗資料室（岡崎市地域交流センター六ツ美分館 悠紀の里内）がオープンしました。

「大嘗祭悠紀齋田」は岡崎市無形民俗文化財に指定され、毎年6月第1日曜日に「お田植えまつり」が開催されています。

明治時代から昭和中頃まで「日吉丸と蜂須賀小六の出会いの図」の図案を当社の宣伝用看板や商品パッケージとして使用しておりました。

現在はカクキューの売店限定パッケージ（復刻版）として使用しております。



「日吉丸と蜂須賀小六の出会いの図」